

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	<input checked="" type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名：) <input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり <input checked="" type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了 <input type="checkbox"/> 占有物件との工程調整の必要あり <input type="checkbox"/> 余裕期間設定工事	<input type="checkbox"/> 調整項目 (<input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整) <input checked="" type="checkbox"/> 制限する工種名 (全工種) 施工時期及び施工時間 (8:30 ~ 17:00) 施工方法 () <input checked="" type="checkbox"/> 協議が必要な機関名 (亀山市：道路占用) 協議完了見込み時期 (令和8年9月上旬) <input type="checkbox"/> 占有物件名 (<input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 発注者指定方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。本工事の着手日は令和 年 月 日とする。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。 <input type="checkbox"/> 任意着手方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。受注者は、落札決定日の翌日から起算して3日以内に令和 年 月 日 (工事着手期限日) までの期間内で工事着手日を決定し発注機関に通知することとし、本工事の着手日はその日とする。ただし、一度通知した着手日を変更することは認めない。また、休日 (三重県の休日) を着手日に定める条例第1条に規定すること、及び設定した着手日により工期未了が休日となる設定は認めない。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。 余裕期間設定工事については以下によるものとする。 ・建設業退職金共済制度掛金収納書の提出については、三重県公共工事共通仕様書によらず工事着手日までに提出するものとする。 ・本工事は、余裕期間を設定した工事であり、主任 (監理) 技術者の配置は工事着手日とする。受注者は、契約時に現場代理人等選任通知書に記載した技術者を工事着手日に配置しなければならない。工事着手日に配置できず、余裕期間設定工事執行要領第7条第1項により技術者の変更が認められない場合は、工事続行不能届を提出しなければならない。
用地関係	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (工事工程調整区間) <input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり <input type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (M239-1-2-1 ~ M239-1-2-2 J=57.4m M239-1-2-2 ~ M206-1 J=36.4m 区間は12月以降から工事着手となります。) <input type="checkbox"/> 未処理箇所 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ~ No.) <input type="checkbox"/> 完了見込み時期 (<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 <input type="checkbox"/> No.) <input type="checkbox"/> 仮設ヤード (<input type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 私有地 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間 () <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離 (L = km) <input type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法 () <input type="checkbox"/> その他 ()
公害対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり <input type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり <input type="checkbox"/> 漁業関係による調整	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目 (<input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 施工方法等 (<input type="checkbox"/> 指定工法名 () <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 施工時期 () <input checked="" type="checkbox"/> 調査項目 (<input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input checked="" type="checkbox"/> 近接家屋の事前調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定) <input type="checkbox"/> 調査方法 (<input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 工事の施工に関して、施工期間 (契約時から完成時まで) においては、理由のいかんにかかわらず、内水面漁業協同組合及び組合員等に対して金品の提供は行わないこと。 <input type="checkbox"/> 内水面漁業協同組合への工事の施工方法や現場管理等の説明は、発注者が行います。なお、発注者のみで説明が困難な場合は発注者に同行すること。 <input type="checkbox"/> その他 ()

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.2

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり <input type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限 <input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり <input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保（自主施工の原則） <input checked="" type="checkbox"/> 事故速報の提出 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線 <input type="checkbox"/> 概算人数による算出 <input type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数 <input type="checkbox"/> ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としていたるため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 人 B： 人 （注：交通誘導警備員 A が配置できない場合も変更の対象とする。） <input type="checkbox"/> ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、美濃人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 <input type="checkbox"/> ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた美濃人数が確認できる資料を提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 積上げによる算出 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 配置人員数（3人）起点、終点には必ず配置及び工事箇所には1人配置。（うち交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） <input type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間（ ） <input type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種（全工種） <input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり <ul style="list-style-type: none"> ・近接公共施設（<input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> その他（下水道）） ・近接施設（<input checked="" type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/> プロック塀 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> その他（ ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 ・工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ） <input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路（幹入路）の使用制限あり <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

亀山市
令和8年5月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仮設備関係	仮設備の設置条件あり	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 転用あり () <input type="checkbox"/> 兼用あり () <input type="checkbox"/> その他 ()
	水替工（縮切排水工）	<input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし <input type="checkbox"/> 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、賦が定める作業日当たり標準作業量等を用いて作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他 ()
建設発生土・産業廃棄物関係	仮設備の構造及び施工方法の指定	<input type="checkbox"/> 構造及び設計条件 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 施工方法 () <input type="checkbox"/> その他 ()
	建設発生土受入地の指定あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件 (<input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離 (L = km) <input type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他 ()) <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定 (<input checked="" type="checkbox"/> 暫定運搬距離L = 8 km、 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (掘削土が第3種建設発生土以上であれば協議により当該工事の指定場所へ搬出すること。なお、その運搬距離については変更の対象とする)) <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり (<input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input checked="" type="checkbox"/> 木材 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (石綿管))) <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地 (<input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場 (アス塊、汚泥) <input type="checkbox"/> 最終処分場 (石綿管) <input type="checkbox"/> 別添図書)) 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目 () に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件 () <input type="checkbox"/> 別途協議)
	建設発生土における建設発生土の受入れ	<input type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 () <input type="checkbox"/> その他 ()

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
適用条件	適用条件	情報共有（□電子メール（①を適用）□A S P（②を適用）□電子メール又は受注者希望によりA S P（①または②を適用））
<input checked="" type="checkbox"/>		①電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和6年11月（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input checked="" type="checkbox"/>		②情報共有システムの活用に関する特記仕様書 令和7年4月（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input checked="" type="checkbox"/>		「建設工事請負契約書第2条第5項（単品スライド条項）にかかる特記仕様書」を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input checked="" type="checkbox"/>		デジタル工事写真の画像情報電子化に係る特記仕様書 令和3年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input checked="" type="checkbox"/>		タブレットワーク等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「亀山市土日完全週休2日制工事（発注者指定型）試行要領」 令和8年5月を適用
<input type="checkbox"/>		（亀山市HP「契約・工事の条項等に関するお知らせ」参照）
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（土木）「週休2日交替制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（港湾）「土日完全週休2日制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（港湾）「週休2日交替制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（農業農村整備工事）「土日完全週休2日制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（農業農村整備工事）「週休2日交替制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（森林整備保全工事）「週休2日交替制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（熱中症対策関係工事）「土日完全週休2日制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		（熱中症対策関係工事）「週休2日交替制工事（発注者指定型）」に係る試行要領 令和7年7月を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input checked="" type="checkbox"/>		「熱中症対策に関する現場管理費の補正に関する特記仕様書【令和8年5月改定版】」を適用
<input type="checkbox"/>		（亀山市HP「契約・工事の条項等に関するお知らせ」を参照）
<input type="checkbox"/>		「森林整備保全事業等における熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書【令和5年5月改定版】」を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「熱中症対策に資する現場管理費率の補正に関する特記仕様書【令和8年5月改定版】」を適用
<input type="checkbox"/>		（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		※「水道施設整備費に係る歩掛表」の間接工事費の工種区分を適用する工事
<input type="checkbox"/>		（亀山市HP「契約・工事の条項等に関するお知らせ」を参照）
<input type="checkbox"/>		「概算数量発注方式（詳細設計未実施の場合）特記仕様書」を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		・工事資料
<input type="checkbox"/>		・工事実施計画書
<input type="checkbox"/>		「概算数量発注方式（詳細設計実施済の場合）特記仕様書」を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		・工事資料
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（土工）特記仕様書【発注者指定型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		・I C T建設機械の施工 □ 3次元MCまたは3次元MGプルドーザ □ 3次元MCまたは3次元MGバックホウ
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（土工）特記仕様書【発注者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（作業土工（床掘り））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（法面工）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（擁壁工）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（地盤改良工）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（基礎工）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（河川浚渫）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）
<input type="checkbox"/>		「I C T活用工事（舗装工）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に出た時点で制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
適用条件	□ 適用条件	<p>□ ICT活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（構造物工（橋梁上部））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（構造物工（橋脚・橋台））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（コンクリート堰堤工）特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（浚渫工（港湾））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（基礎工（港湾））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（ブロック据付工（港湾））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ ICT活用工事（海上地盤改良工（床掘工・置換工））特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照</p> <p>□ 「建設現場における遠隔現場の試行に関する特記仕様書」令和4年7月（三重県県土整備部）を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 「建設キャリアアップシステム活用モデル工事 追加特記仕様書」を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 建設キャリアアップシステム活用モデル工事 □ 発注者指定型 □ 受注者希望型</p> <p>□ 「追加特記仕様書（基礎工（既製杭工））」を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 「ウィークリースタンス実施要領（令和8年5月）」の対象工事とする（亀山市HP「契約・工事の条項等に関するお知らせ」を参照）</p> <p>□ 「現場環境改善に関する特記仕様書【発注者指定型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 「現場環境改善に関する特記仕様書【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 「現場環境改善に関する特記仕様書（県土整備部災害復旧工事）【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 「現場環境改善に関する特記仕様書（農業農村整備工事）【発注者指定型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ 「現場環境改善に関する特記仕様書（農業農村整備工事）【施工者希望型】」令和7年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p>□ その他（ ）</p>
監督の区分 共通仕様書 第3編3-1-1-4 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)	<p>☑ 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となつた場合は、全ての工種を重点監督とする。）</p> <p>□ 重点監督</p>	<p>【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】</p> <p>□ 全ての工種に適用する。</p> <p>□ 対象工種（ ）</p> <p>※ これ以外は、一般監督とする。</p>
入札・契約方式	<p>□ 入札時VE方式</p> <p>□ 契約後VE方式</p> <p>□ 設計・施工一括発注方式</p> <p>□ フロポーザル方式</p> <p>□ 総合評価方式</p>	<p>□ 契約前のVE提案に基づき施工しなければならぬ。</p> <p>□ 契約後にVE提案を受け付ける。</p> <p>□ 細部設計の承認を受けなければならぬ。</p>
電子納品	<p>☑ 工事完成図書（工事写真のみ）</p> <p>□ 電子納品対象外</p>	<p>□ 本件工事で技術提案等の不履行があつた場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。</p> <p>☑ 工事完成図書（工事写真のみ）は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。</p> <p>□ 電子媒体の提出部数は、（□ 2部 ☑（ 1 ）部）とする。</p> <p>□ 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和 7年 7月改訂）を適用</p>
地質調査の 電子成果品等	□ 地盤情報データベースの登録の必要あり	<p>□ 検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/））</p> <p>□ 検定料金の計上（ □ A検定 □ B検定 ）</p> <p>（注：受注後、これにより難い場合は設計変更の対象とする。）</p>
産業廃棄物税	☑ 産業廃棄物税	<p>☑ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。</p>
コリンズ 作成・登録	☑ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設発生土情報交換システム	<p>☑ 建設副産物情報交換システム</p> <p>□ 建設発生土情報交換システム</p>	<p>□ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。</p> <p>□ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.7

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
<input checked="" type="checkbox"/> 下請関係 下請企業 次数制限	<input checked="" type="checkbox"/> 下請企業の次数制限	木工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面に発注者の承諾を得ること。
<input type="checkbox"/> 県内企業 使用 管内企業 優先使用	<input type="checkbox"/> 県内企業の使用、管内又は隣接管内企業の優先使用	木工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を三重県内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。また、本建設事務所管内又は隣接する建設事務所管内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請けに選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
<input type="checkbox"/> 県内産製品 優先使用	<input type="checkbox"/> 建設資材の県内産製品優先使用	木工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。 木工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
<input type="checkbox"/> 県産木材の 利用推進	<input type="checkbox"/> 県産木材の利用を指定する工種あり	次の工種においては、県産木材が利用できない場合は、監督員と別途協議すること。 (工種： <input type="checkbox"/> 工事案内看板（標示板） <input type="checkbox"/> 仮設防護柵工 <input type="checkbox"/> 公園施設工（ ） <input type="checkbox"/> 植栽支柱工 <input type="checkbox"/> 木製ガードレール <input type="checkbox"/> バリケード <input type="checkbox"/> 土留工 <input type="checkbox"/> 階段工 <input type="checkbox"/> 残存型枠工 <input type="checkbox"/> 木製デリネーター <input type="checkbox"/> 木柵・丸太柵工 <input type="checkbox"/> 木筋・丸太筋工 <input type="checkbox"/> 転落防止工 <input type="checkbox"/> 水制工 <input type="checkbox"/> 手すり <input type="checkbox"/> マルチング <input type="checkbox"/> 伏工（丸太伏工） <input type="checkbox"/> 護岸工 <input type="checkbox"/> 木橋、木道 <input type="checkbox"/> 木製案内誘導看板等 <input type="checkbox"/> 立入防止柵（仮設工） <input type="checkbox"/> 根固工（木工沈床工） <input type="checkbox"/> 丸太杭工 <input type="checkbox"/> 木製案内誘導看板等 <input type="checkbox"/> 木製型枠（ <input type="checkbox"/> 場所打擁壁工 <input type="checkbox"/> コンクリート壁工 <input type="checkbox"/> 橋脚工 <input type="checkbox"/> 橋脚工 <input type="checkbox"/> 張りコンクリート工 <input type="checkbox"/> その他（ ） 上記で指定した工種においては、県産木材の使用が証明できる資料（県産材証明書、納品書等）を監督員に提出し、確認を受けること。 なお、工事案内看板（標示板）、バリケード及び木製型枠については、「県産木材の使用が証明できる資料」の流用を可とする。 木製型枠については、設計図書に明示した箇所については県産材型枠用合板を使用するものとし、特有の表面塗装（色）がされている等、見分けが容易なものとする。また、実施に当たっては以下によるものとする。 ・ 受注者は施工計画書に県産材型枠用合板の使用箇所、数量について記載すること。 ・ 受注者は、県産材型枠用合板が使用できない場合は、監督員と別途協議すること。 ・ 受注者は、県産材型枠用合板の設置完了時の写真を監督員に提出し、確認を受けること。 ・ 受注者は、使用した県産材型枠用合板の使用箇所、数量について報告すること。 ・ 受注者より報告された数量に基づき、設計変更の対象とし、従来品との差額を計上する。 加圧注入による防漏・防蟻処理の性能区分について、設計図書に明示あり。 加圧注入による防漏・防蟻処理の性能区分を証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。 木製ガードレールについては、平成10年11月5日付建設省道業発第29号「防護柵設置基準の改定について」及び同関連通達「車両防護柵性能確認試験方法について」に定められた試験方法により、土木研究センターにて検証し防護柵の性能を満たしたものであることを証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。
<input type="checkbox"/> 不当介入を 受けた場合の 措置	<input checked="" type="checkbox"/> 不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
<input type="checkbox"/> 不当要求等 を受けた場合の 措置	<input checked="" type="checkbox"/> 不当要求等を受けた場合の措置	亀山市は「建設工事等の受注者への不当要求等防止対策要綱」及び「三重県建設工事等不当要求等防止協議会規約」（三重県FP「三重県の公共事業情報」を参照）に基づき、建設工事等の受注者への不当要求等防止に取り組んでいく。 受注者又は下請負人等が不当要求等を受けた場合は、受注者から「亀山市」（不当要求等防止責任者）に報告様式「三重県FP「三重県の公共事業情報」を参照）により、その事実を報告すること。また、受注者又は下請負人等に対する不当要求等の疑いがある行為について相談したい場合は、「亀山市」（不当要求等防止責任者）に躊躇なく相談すること。
<input type="checkbox"/> 工事実態調査	<input type="checkbox"/> 工事実態調査	三重県低入札価格調査実施要領第3条で定める調査基準に満たない額で契約し、発注者より工事実態調査の指示があった場合は、同実施要領で定める重点調査を経て契約した場合は、工事実態調査に協力すること。
<input type="checkbox"/> 社会保険等未加 入対策	<input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)	適用除外でないも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

亀山市
令和8年5月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.8

明示項目	明示事項	条 件 及 び 内 容
監理技術者等の兼務	<input type="checkbox"/> 監理技術者等の兼務	<input type="checkbox"/> 建設業法第26条第3項第1号（専任特例1号）、建設業法第26条第3項第2号（専任特例2号）及び建設業法第26条の5（専任特例営業所技術者）の規定の適用を受ける監理技術者等の配置を行う場合は、三重県公共工事共通仕様書に記載の要件を全て満たすこと。
時間外労働の上限規制の適用	<input type="checkbox"/> 時間外労働の上限規制の適用	<input type="checkbox"/> 本工事は、労働基準法第139条第1項「災害時における復旧及び復興の事業」に該当する工事である。
不可抗力による損害	<input type="checkbox"/> 災害応急対策又は災害復旧に関する工事 （建設工事請負契約書の条項第30条第4項ただし書）	<input type="checkbox"/> 本工事は、建設工事請負契約書の条項第30条第4項の「特記仕様書で定める災害応急対策又は災害復旧に関する工事」の対象工事である。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

亀山市
令和8年5月

工事特記仕様書

1. この仕様書は当該工事のみ適用し、定めのない事項については三重県公共工事共通仕様書(以下「公共共仕」という。)及び三重県建設工事執行規則によらなければならない。
 2. 開削工
 - 舗装道路については、1日の作業終了毎に原則としてアスファルト舗装により復旧し交通解放を行うこと。
 - 舗装復旧部分の区画線について、舗装復旧後速やかに復旧すること。復旧に時間を要する場合は仮復旧を行うこと。
 - 主要幹線の圧送管については、施工後監督員立会のもと水圧試験を行うこと。
 - マンホール間の距離が50mを超える箇所については、管内のテレビカメラ調査を完成報告書提出前に行い調査報告書の提出及び電子媒体にて調査映像を1部提出すること。
 3. 竣工時の提出書類
 - 公共ます設置台帳を指定の用紙データにより作成し、電子データ(PDFファイル)で提出すること。
 - 完成図(平面・縦断図)を提出すること。紙ベース:1部、電子データ(PDFファイル)
 4. その他
 - 1日の作業時間が午後5時を越えると予想される場合は、午後4時までに監督員にその旨を連絡すること。また、1日の作業が終了次第、監督員に作業終了確認の連絡をすること。

- マンホール蓋デザインは、関第一から第五処理分区については「町並み／アスレ」、その他処理分区については「亀山城とハナシヨウブ」を使用すること。
- 「亀山市公共建築物等木材利用方針（平成23年4月1日）」第5の1に基づき、間伐材及び木製品を積極的に利用すること。
- 施工箇所を明示した休日作業届及び週間工程表を閉庁日三日前までに提出すること。
- 掘削土は土質試験により埋戻し土として流用可能であれば監督員と協議し変更対象とします。

(建設リサイクル法に関する条件明示等)

1. 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（(平成 12 年法律第 104 号) 以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

積算条件

① 分別解体等の方法

※「分別解体の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (※)
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 ■有 □無	<input type="checkbox"/> 手作業 ■手作業・機械作業の併用

② 再資源化等をする施設の名称及び所在地

再資源化施設名を明示することは、再資源化施設を指定するものと解釈され、自由な競争を阻害する恐れがあるため、明示はしないものとする。

なお、積算上は「運搬費+受入料金」の合計額の最も安価となる再資源化施設を想定している。

亀山市土日完全週休2日制工事（発注者指定型）特記仕様書
（月単位の週休2日）

1 土日完全週休2日制の定義

- （1）土日完全週休2日制工事（以下「週休2日」という。） 対象期間において、現場閉所を原則、すべての土曜日と日曜日に行うものをいう。
- （2）対象期間 工事開始日から工事完成報告書の提出日までの期間（準備期間、後片付け期間、夏季休暇（3日間）、年末年始休暇（6日間）、工場製作のみの期間、工事事務等による不稼働期間、天災（豪雨、出水、土石流、地震等）に対する突発的な対応期間その他受注者の責によらず休工又は現場作業を余儀なくされる期間を除く。）をいう。
- （3）現場閉所 巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行うときを除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場又は現場事務所が閉所された状態をいう。
- （4）週単位の週休2日 対象期間内の全ての週における現場閉所の達成状況が、1週間（月曜日から日曜日まで）のうち2日間以上であることをいう。この場合において、対象となる週が1週間（月曜日から日曜日）に満たない週、発注者の指示による土日作業（同一週内での指示に限る）を行った週は対象期間から除く。
- （5）月単位の週休2日 対象期間内の全ての月ごとにおける現場閉所の達成状況が4週8休以上（各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数＝28.5%以上）であることをいう。この場合において、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休（各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数＝28.5%）に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている場合に、4週8休以上（各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数＝28.5%以上）を達成しているものとみなし、発注者の指示による土日作業（同一週内での指示に限る）を行った日、暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。

7 工事の精算に当たり、週単位の週休2日を達成できた場合、次表左欄に掲げる区分に応じ、右欄に掲げる補正係数を乗じて得た額に増額変更するものとする。この場合において、週単位の週休2日及び月単位の週休2日を達成できなかったものについては、補正係数を除き減額変更するものとする。

労務費	1.02
共通仮設費率	1.02
現場管理費率	1.03
市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数	三重県基準に準じる
土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数	三重県基準に準じる

8 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天（降雨・降雪等）により休工した日も現場を閉所した日数に含めるものとする。この場合において、週休2日の算定は実際に現場閉所した日を週又は月単位で算定すること。

9 対象期間内ですべての土曜日・日曜日の現場閉所が達成できた場合、別に定める工事成績採点表の所定の欄に「週休2日制工事の実施」と記載して工事成績評定を加点する。

また対象期間内ですべての土曜日・日曜日の現場閉所、週単位及び月単位の週休2日が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点を行わない。

10 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努めること。

(6) 通期の週休2日 対象期間全体での現場閉所の達成状況が4週8休以上（現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上）であることをいう。

- 2 請負者は、工事着手前に、「土日完全週休2日制工事確認表」を作成し、発注者に提出すること。
- 3 請負者は対象期間中、毎月、上記で作成した週休2日制工事確認表に現場閉所の実績を追記し、発注者に提出すること。
- 4 請負者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、第2項の週休2日制工事確認表を提出し、監督員と協議のうえ、工事請負契約条項第22条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 5 請負者は下請業者に対し、土日完全週休2日制工事の取組みにあたり必要な事項について協力すること。
- 6 当初精算における週休2日に関する経費（労務費、機械経費（機械賃料）、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価及び標準単価に限る。）は、月単位の週休2日を前提とした次表左欄に掲げる区分に応じ、右欄に掲げる補正係数を乗じて得た額をそれぞれの経費に計上するものとする。

労務費	1.02
共通仮設費率	1.01
現場管理費率	1.02
市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数	三重県が定める週休2日制試行要領（土木工事編）（令和7年7月1日施行）、週休2日制試行要領（農業農村整備工事編）（令和7年7月1日施行）及び週休2日制試行要領（森林整備保全工事編）（令和7年7月1日施行）の規定（以下「三重県基準」という。）に準じる
土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数	三重県基準に準じる

熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書

1. 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。
2. この特記仕様書における用語の定義は次のとおりとする。
 - (1) 真夏日
日最高気温が30℃以上の日をいう。
但し、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温が30℃以上の場合とする。
 - (2) 工事期間
「工事着手日」から、「工期末前の受発注者間で協議した日」までの期間のうちで、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。
なお、工事期間に年末年始を含む工事では、年末年始休暇分として6日間、6月、7月、8月又は9月を含む工事では夏季休暇分として3日間、工場製作のみを実施している期間及び工事全体を一時中止している期間は含まない。
また、「工期末前の受発注者間で協議した日」は、監督員が最終変更設計書の作成開始日とすることを基本とする。
 - (3) 真夏日率
以下の式により算出された率をいう。
$$\text{真夏日率} = \text{工事期間中の真夏日} \div \text{工事期間}$$
 - (4) 熱中症対策補正值
以下の式により算出された値をいう。
$$\text{熱中症対策補正值 (\%)} = \text{真夏日率} \times 1.2$$

真夏日率及び熱中症対策補正值は、小数点以下第3位を四捨五入して、第2位止めとする。
3. 気温の計測方法等は次のとおりとする。

受注者は、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載するものとする。

 - (1) 計測方法
気温は、施工箇所から最寄りの気象庁の地上気象観測所の測定値を用いることを標準とする。なお、環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることもできることとするが、その場合、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。
 - (2) 計測結果の報告
施工計画書に基づき、計測結果の資料を監督員へ提出するものとする。
4. 現場管理費の算出方法等については次のとおりとする。

受注者から提出された計測結果の資料をもとに、熱中症対策補正値を算出し、現場管理費の算出を行うものとする。なお、現場管理費の算出については、「亀山市熱中症対策に資する現場管理費の補正試行要領」によるものとし、設計変更の対象とする。

5. その他

受注者は熱中症対策の対象となる工事期間を監督員と協議すること。

亀山市ウィークリースタンスの試行に関する特記仕様書

受発注者間相互の1週間のルールをウィークリースタンスとして定め、計画的かつ効率的に工事・業務を履行することで、より一層魅力ある仕事となるよう、受発注者間の仕事の進め方として、下記のとおり、ウィークリースタンスについて取り組みに努めることとする。

1. 取組内容

- (1) 月曜日（休日明け日）は依頼の期限日としない。（マンデー・ノーピリオド）
- (2) 金曜日（休前日）は新たな依頼をしない。（フライデー・ノーリクエスト）
- (3) 勤務時間外の依頼はしない。
- (4) 勤務時間終了間際、勤務時間外の打合せは行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。
- (6) 打合せは Web 会議等の活用を努める。
- (7) 前各号のほか、受発注者間において確認のうえ、決定した工事（業務）の労働環境改善に関わる取組を行う。

なお、災害発生時等の緊急を要する場合は「例外」とする。また、工事（業務）途中での取組の変更も可能とする。

2. 留意事項

- ・ウィークリースタンスは受発注者間の姿勢（スタンス）を示したものであり、現場等各種条件や企業方針、及び必要とする作業日数等の確保により曜日の変更等を行うことができる。
- ・緊急対応については、上記の限りではなく、受発注者が協力して臨機の対応を行うものとする。

2. 元請業者から発注者への書面による事前説明（建設リサイクル法12条関係）

少なくとも以下の事項について説明する。

- ・ 解体工事である場合においては、解体する建築物等の構造
- ・ 新築工事等である場合においては、使用する特定建設資材の種類
- ・ 工事着手の時期及び工程の概要
- ・ 分別解体等の計画
- ・ 解体工事である場合においては、解体する建築物等に用いられた建設資材の量の見込み

以上の説明については、建設リサイクル法省令で定めた様式第1号の別表1（建築物に係る解体工事）、別表2（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様換））、別表3-1、3-2（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等））のうち、当該工事に該当する別表及び工程表を工事を請け負おうとする者が作成し、契約締結前に契約担当者又は工事担当課長等に説明するものとする。

3. 工事請負契約書「7. 解体工事に要する費用等」に記入する内容について

契約締結時に発注者と請負者の間で確認した次の事項を請負者が記入するものとする。

- (1) 解体工事に要する費用
- (2) 再資源化等に要する費用
- (3) 分別解体の方法
- (4) 再資源化等をする施設の名称及び所在地